

高橋 宗也



県政レポート 2023年 6月号



少子化政策の推進と強化に向けて

人口減少・少子化が進行しています。宮城県における合計特殊出生率(1人の女性が産む子どもの数の指標)は「1.15」。全国的にも、東京の1.08に次いで2番目に低い数値です。

加速して進む少子化の背景には、若い世代の経済状況・雇用環境の変化や、結婚・出産といった家庭生活よりも仕事や勉学、趣味などの社会生活を重視する傾向など、多様な要因があるとされています。

課題を先送りすることなく、児童給付制度の思い切った拡充など、国と地方が連携した社会保障と子育て支援、雇用などの総合的な政策が必要です。

また、新型コロナウイルスの影響で婚姻数も減っており、結婚したくても

出会いがないという人への支援等も調整していく必要があります。

若い世代の意識の変化に沿った思い切った少子化対策の実施に向けて、社会の持続の根本となる子育て支援政策を全力で推進してまいります。

県議会の役職

平成29年5月～県議会議員。
令和元年11月～2期目。

※前職・東松島市役所復興政策部長。東日本大震災時から一貫して復興業務等を担当。

【宮城県議会】 建設企業委員会常任委員長、文教警察常任委員会委員長、環境福祉常任委員会委員長を歴任。農林水産委員会、東日本大震災復興調査特別委員会委員。再エネ等推進条例検討会座長。

【自民党・県民会議】 事務局長。

【議連役員】 農業議員連盟幹事長。水産漁港議員連盟事務局長。SDGs推進議連事務局長。防衛議員連盟事務局長。防災議連副幹事長。ほか、サイクルツーリズム、日台友好、インドネシア友好、宮城オルレ推進議員連盟等の役員。

【超党派議連】 宮城県スポーツ議員連盟幹事。宮城県ILC誘致議連事務局長。宮城県私学を支援する県議の会幹事長。ほか

2023年度 県当初予算のうち、少子化・子ども政策の主な事業 (新規・拡大分の一部)



みやぎ結婚支援センター
「みやまり」

AIを使った結婚マッチングサービス



子どもは地域の宝、少子化対策を推進

- 結婚** 宮城結婚支援センター「みやまり」の運営支援費 — 約4,264万円
※AIを使ったマッチングサービスがスタート
- 市町村** 少子化対策支援市町村交付金 — 約1億5,400万円
- 子ども** 地域子ども・子育て支援費 — 約30億円
※放課後児童クラブ等の支援費拡大
待機児童解消推進費(保育所支援等) — 約3億285万円
出産・子育て応援交付金 — 約2億700万円
- 社会** 児童虐待対策費 — 約1億4,646万円
子どもの貧困対策推進費 — 約6,389万円
コミュニティスクール推進費 — 約1,586万円
授乳室設置促進費 — 約4,261万円
不妊検査費用等助成費 — 約3,700万円
- 生徒** 児童生徒支援体制整備推進費 — 約3億3,753万円
※スクールカウンセラーなど相談体制整備
発達障害児者総合支援費 — 約1億2,222万円



宮城県議会・予算特別委員会 高橋 宗也 総括質疑

県議会では、予算審議の際、全議員で構成される予算特別委員会が設置されます。

高橋は、会派を代表して総括質疑に登壇し、知事及び当局に対し、各分野における課題の対応、そして予算案と今後の方針について政策提言・質疑を行いました。

市町村が実施する「出産・子育て応援」事業の経費助成

●国の制度を活用し、県と基礎自治体が連携して少子高齢化対策を強力に進めていくことを要望しつつ、今後注目している。出産・子育て政策は最重要とされている中で、基礎自治体の財政力によって事業の濃淡が出ている状況には、危機感をもっている。

過疎や人口減少が著しい自治体ほど、財政力も弱く、有効な子育て支援策を打てず、さらに人口が減少する「負のスパイラル」に陥ってしまう懸念がある。広域自治体である県としての子育て支援策について、今後の方針を伺う。

【知事当局答弁】 県として、財政面そして人材等でも市町村の取り組みを強化し、支援していく。また、好事例は横展開していくなど、情報も共有して、課題の解決に努める。

「子どもの安心・安全対策支援費」について

●子どもの安全を守る「送迎用バス」や、「ICTを活用した安全確保」策の進展は必要だ。また、日々の訓練も重要である。特に未就学の防災訓練の実施状況については、保育所と幼稚園、そして公立・私立等、それぞれ差異がある。石巻市で、大震災の際、園児が送迎バスで亡くなるという、あまりにも残念な事故が発生している。今後の訓練の充実に向け「新たな仕組みづくり」が必要だ。

【知事当局答弁】 まず、各施設の実態の把握に努めつつ、県で研修会等を開催していく。安全確保は重要な課題と認識しており、今後も調整を深めていく。

「防災・減災・国土強靱化対策費」について

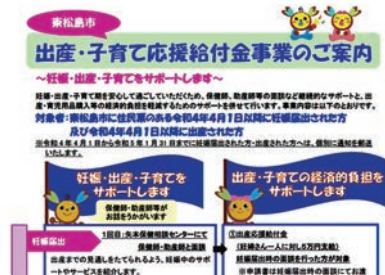
●雨量が以前とは異なったレベルで増え、豪雨災害は頻発し、危険河川も増えている。地方公共団体が緊急かつ集中的に河川改修に取り組み、危険箇所を解消できるよう「緊急浚渫推進事業債」が国によって創設された。危険解消に向けた必要性は高い。また、橋梁の長寿命化など、今後の国土強靱化の対応は必要不可欠だ。大震災時の復興でも明らかになったとおり、地元の土木・建設業事業者は、大切な防災力維持のパートナーでもある。切れ目のない事業化と地元発注の姿勢が不可欠。

【知事当局答弁】 現場のパトロールや現地調査を進めつつ、河川や施設の危険度・健全度・重要度等を総合的に判断して、優先順位を定めて防災を進めていく。緊急浚渫推進事業は、本県ではダム等の浚渫で活用しているが引き続き調整していく。

介護保険施設等の「燃油・電気料高騰対策」について

●老人ホームや老健施設などの介護保険施設は、介護報酬、食費、居住費などの価格が介護保険制度で決められているため、根本的に、経費負担増分を価格に転嫁することができない。一方で、介護保険制度の改革サイクルは3年に1度で、次の改革は令和6年度になる。全国的にも特別養護老人ホームの3割から4割が赤字になっており、介護事業者の倒産が過去最多となっている。政府に対して、早期に・根本的な介護保険料金体系の見直しを求めるとともに、県としての支援対応が必要。

【知事当局答弁】 県として「施設省エネルギー設備等導入支援費」を補正措置(令和4年度追加)。政府に対しても、物価高騰やエネルギー価格高騰対策のための臨時的介護報酬改定や介護保険制度の見直し、さらには基本単価の見直し等を要望していく。



東松島市の応援事業(※昨年度)



バス送迎を含めた安全確保(参考写真)



河川防災は急務



委員会でも審議し高騰に対応

トピックス



宮城オレレ奥松島コース3万人達成



春の交通安全運動



新防災マップ市民説明会

農業・水産業政策、環境対応、UPZ防災など 「一般質問」の要旨



県議会において一般質問に登壇し、環境変化・地球温暖化に対応した「農業」と「水産業」の振興、防災対策の強化と東松島市を含むUPZ区域(原発から半径30キロ圏の緊急時防護措置準備区域)の支援措置等について政策提言と対応を要求。一部は予算や予算化や政策・事業に反映されました。

温暖化が加速的に進み、水稻も高温障害の発生が増加傾向にある暑さと、産地間競争に対応した品種開発が急務

【高橋】 米どころである我が宮城の主力品種「ひとめぼれ」が、ここ数年、特Aランクを獲得できていない。高温障害から白濁や胴割れなどが発生する割合が高くなっている。「ひとめぼれ」は、30年以上前に開発された、冷害対応品種ということもあり、現場からは次なる主力品種、近年の高温障害と産地間競争に対応できる品種が切望されている。

【知事答弁】 気候変動や生活様式の変化に対応した品種の開発と生産は、議員指摘のとおり重要な課題と認識している。みやぎ環境税も活用し、古川農業試験場で、高温登熟性と食味に優れた品種の開発を強力に進めていく。



環境に対応した持続的な一次産業の発展に向けて

海洋環境の維持とブルーカーボン 沿岸養殖事業の持続的な発展政策について

【高橋】 海水温の急激な上昇や低酸素化が進み、アラメやアマモ等の海藻も減少している。昨年从今年にかけては、牡蠣の生産量が大幅に減少。海苔も色落ちが一部で発生するなど、海洋環境は著しく悪化している。今まで経験したことのないような環境の変化が表れており、海藻・藻場の造成等によりCO₂の吸収・貯留を進める「ブルーカーボン」について、漁業の持続性と、生物多様性の維持など、水産部門と環境部門が連携して、早急な対応をして必要がある。航路の浚渫等も含めて総合的な対策を急がれたい。

【知事答弁】 我が県の沿岸域では、藻場が衰退する「磯焼け」が発生しており、環境浄化やブルーカーボンとしての機能は、非常に大切な取組と認識している。質疑を踏まえ、藻場造成を含め、漁業環境のより精密な調査を実施し、効果的な対策を急ぎ調整する。また、「宮城県藻場ビジョン」に基づく漁場環境の整備を進めていく。

防災対策の強化とUPZ区域への支援措置 について

【高橋】 電源三法交付金制度は、ほぼ発電所が立地される自治体のみ交付金が運用されている。また、核燃料税も同様で、立地所在地周辺地域には、交付されていない。

一方で、災害対策基本法は、東日本大震災等の経験をふまえて大幅に拡大改正され、以前にも増してUPZ自治体と地域住民は、防災対策を強化していくことが義務づけられている。交付金の対象地域はUPZ区域に拡大し、現況に対応した形に改善すること、さらに、不整合、不平等は改正していくことが必要不可欠だ。

【知事答弁】 UPZ区域内の市町において、避難計画等の作成や関連業務などに要する経費負担が生じていることについては、財政措置が必要であると認識している。新たに市町における広報等に活用できる「県原子力防災対策普及補助金」を創設する。また、国に対してUPZ区域内の市町に対する十分な財政措置を要望していく。

※後日、知事から「核燃料税交付金」のUPZ区域内の自治体交付に関して、「市町の財政需要を把握した上で、支援制度との関係を確認し、予算化を進める」旨の回答がありました。

県議の1カ月 (高橋宗也5月)

県議会議員の活動って、普段どんなことをしているの？
というご質問をよくいただきます。
主な議員活動について、5月を例にご紹介いたします。

- 5月 1日(月) 県議会河川整備打ち合わせ(仙台市)
- 5月 2日(火) 河川現地調査(東松島市)
- 5月 3日(水) 地域コミュニティ行事(東松島市)
- 5月 4日(木) 地域コミュニティ行事(東松島市)
- 5月 5日(金) 青い鯉のぼりまつり(東松島市)
- 5月 6日(土) 河川整備現地立ち合い(東松島市)
- 5月 7日(日) 地域コミュニティ行事(東松島市)
- 5月 8日(月) 休日
- 5月 9日(火) 市役所打ち合わせ(東松島市)
- 5月 10日(水) 県議会会派役員会(仙台市)
- 5月 11日(木) 春の交通安全運動(東松島市)
- 5月 12日(金) 松島基地行事(東松島市)
- 5月 13日(土) 希望の大麦収穫祭(東松島市)
- 5月 14日(日) 家庭バレーボール大会(東松島市)
- 5月 15日(月) 県議会福祉事業打ち合わせ(仙台市)
- 5月 16日(火) 再生可能エネルギー条例検討会(仙台市)
- 5月 17日(水) 文化協会総会(東松島市)
- 5月 18日(木) 青少年健全育成市民会議(東松島市)
- 5月 19日(金) 県議会常任委員会(仙台市)
- 5月 20日(土) 隊友会総会等(東松島市)
- 5月 21日(日) 奥松島オール3万人達成行事(東松島市)
- 5月 22日(月) 体育協会総会(東松島市)
- 5月 23日(火) 商工会総代会(東松島市)
- 5月 24日(水) JICA復興協力会議(仙台市)
- 5月 25日(木) 東松島市土木要望会(東松島市)
- 5月 26日(金) 県建設業協会総会(仙台市)
- 5月 27日(土) 復興行事(東松島市)
- 5月 28日(日) 水防訓練(東松島市)
- 5月 29日(月) 石巻港整備同盟会総会(石巻市)
- 5月 30日(火) 県治水打ち合わせ(仙台市)
- 5月 31日(水) シルバー人材センター総会(東松島市)



100通りのありがとう市民ミュージカル



滝山さくら祭り

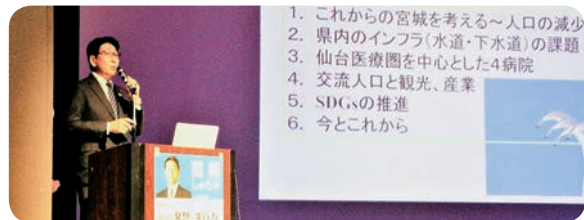


ソマリア政府視察団に説明

未来をともに考える。「県政報告会」を開催 今後も随時行ってまいります

3月28日、東松島市コミュニティセンターで県政報告会を開催。人口減少、インフラの維持、県内の医療圏の問題、交流人口の拡大、SDGsの推進など、県政を取り巻く課題について、「宮城県・東松島市」と「全国・世界」を比較するデータ等を私なりにまとめ、今後の政策や進め方についてパワーポイントでプレゼンし、参加者のみなさまとともに考える形式で実施いたしました。

村井知事、渥美市長、市議会議員の方々にもご出席いただきました。地域での開催のご要望もありましたので、今後も回数を重ねてまいります。



ウクライナ政府高官による日本視察に対応 今後の復興に向けて情報共有

4月20日、ウクライナ政府の次官・局長ら政府高官5人が宮城県を視察。仙台市JICA東北にて、私から県内の復興事例を説明、意見交換を行いました。

当事者から直接、対面でお話を伺うと深刻な状況が極限を迎えていることが理解できました。さらに「戦争と天災は異なるが、津波被災地の復興経験は役に立つ」と話しておられました。情報の共有を進め、支援協力を継続していきたいと、強く決意した次第です。

「日本は、平和で素晴らしい国。そして美しい国。」ウクライナの方から、そんな言葉をいただき、心に響いた一日でした。



東松島市の青く広い空に「青い鯉のぼり」 鎮魂の想いと未来への希望を託して

子どもの日の東松島市。「青い鯉のぼり」が風に舞う一日。

東松島市の青く広い空の下で、たくさんの鯉のぼりと、たくさんの方々に見える大切な行事です。今年から「青い鯉のぼりまつり」という名前になりました。

五月晴のもと、上を向いて、大空を眺めていると気持ちが晴れやかになります。また、「青い鯉のぼり」の泳ぐ姿を見上げていると、私たちを逆に天上から眺めていただいているような不思議な感じにもなります。

鎮魂の想い、そして災害情報の共有や震災伝承を進めながら、将来にわたって安全で安心なまちづくりを進めてまいります。



編集後記

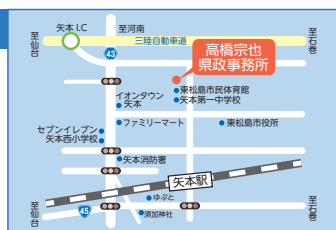
ただいま定例議会の真っ最中です。現在、議員提案の条例「再生可能エネルギー等の推進条例」に「地域共生」の視点を加えて見直す「超党派検討会」の座長を拝命して、多方面から調整中です。

6月に入り、早くも一年間の折り返し。コロナ禍で中断していたコミュニティやスポーツ、芸術文化等の行事が再開いたしました。

ウイルスがなくなったわけではありませんので、注意が必要ですが、社会活動の再開も重要です。体を動かし、芸術文化に触れ、免疫力も上げて、上手に梅雨と夏を乗り切ってまいりましょう。

発行者・事務所

発行者 宮城県議会議員 高橋宗也
事務所 郵便番号 981-0504
東松島市小松字上浮足115
(市民体育館前)
電話 0225-83-5880
メール shuya@kind.ocn.ne.jp



フェイスブック、インスタグラム、ツイッター

高橋宗也

検索

※お友達の申請・フォロー歓迎いたします。

お茶の間懇談会 県政懇談会

県政懇談会・県政説明会、随時開催いたします。

少人数での開催、歓迎いたします。

ご希望や要望等がありましたら、電話、郵便、メール等でお気軽にご相談ください。



お問い合わせ先 高橋宗也県政事務所 TEL.83-5880